

N E T I S 情報	開発目標	省人化、省力化、品質の向上																																																																																
	新技術登録番号	KTK-160024-VE	区分		製品		有用な技術の位置づけ		活用促進技術																																																																									
	分類	港湾・港湾海岸・空港 - 土工 - 施工管理																																																																																
	新技術名	蔵衛門Pad (電子小黒板およびクラウドサービスを利用した工事写真管理システム)																																																																																
	比較する従来技術(従来工法)	手書きを主とした黒板による工事写真撮影及び手入力による工事写真整理・工事写真台帳作成業務																																																																																
活用効果評価	新技術の概要及び特徴	本技術は、従来の木製黒板とカメラによる工事写真撮影に対して、カメラ機能付きタブレット端末とクラウドサービスを使用して、撮影情報の入力、その情報を基にした電子小黒板入り工事写真の撮影、撮影した工事写真台帳の自動作成を一貫して行う技術である。																																																																																
	所見	<p>【優れていた所】</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真整理および撮影補助の person 費が削減され、経済性に優れる。 写真撮影のための現場作業を止める時間が短縮された。またタブレットで関連図面・資料を直ぐに参照できるため、工程および施工性に優れる。 天候や撮影者に左右されず黒板の視認性が確保され、台帳作成時のミスも減少するため、写真管理としての品質が向上する。 高所・狭所でも一人で撮影できる。また強風時の黒板の飛ばされによる公衆災害の危険性も減少し、安全性に優れる。 <p>【劣っていた所】</p> <p>特記事項なし</p>																																																																																
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	<p>当該技術は、追跡調査や評価項目の見直しは不要であり、比較する従来技術も妥当である。また、今後も評価結果の変動は小さいと考えられることから、継続調査の必要性はない。よって、情報種別記号「-VE」とする。</p>																																																																																
	留意事項	・技術内容を理解して、事前準備と操作慣れが必要。																																																																																
	当該技術における改良点及び留意	特記事項なし																																																																																
参考	対象工事	1 高架橋塗装工事	2 車両計測設備修繕工事	3 トンネル舗装工事	4 道路照明設備工事	5 道路改良工事	6 道路舗装工事	7 道路経路情報収集装置設置工事	8 配電線敷設工事	9 トンネル消火設備設置工事	10 トンネル照明設備工事	11 非常警報設備工事	12 道路舗装工事	13 中和処理設備修繕工事	14 道路改良工事	15 道路舗装工事	16 排水機場樋管ゲート設備改修工事	17 中和処理設備修繕工事	18 放流設備副開度計更新工事	19 河川維持工事	20 ダム無停電電源装置設置工事	21																																																												
	活用効果調査結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21																																																												
	項目	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H29	H29	H29	H29	H29	H29	H29	H29	H29	H29	H29	H29	H29																																																												
	項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21																																																												
	項目	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H30	H29	H29	H29	H29	H29	H29	H29	H29	H29	H29	H29	H29	H29																																																												
施工時評価	経済性	B	C	C	C	B	A	A	C	B	A	A	C	D	A	C	C	A	A	D	B	D	B	C																																																										
	工程	B	B	C	C	B	B	B	B	B	B	A	C	C	A	C	C	C	A	B	B	C	B	C																																																										
	品質・出来形	A	C	B	B	B	A	B	B	B	B	A	C	B	A	A	B	C	A	A	B	C	B	C																																																										
	安全性	B	B	C	C	C	A	A	B	B	B	A	A	C	A	C	B	A	A	B	B	A	B	C																																																										
	施工性	B	C	B	B	C	A	B	B	B	B	B	C	B	A	A	B	C	A	B	A	A	B	C																																																										
	環境	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																										
	その他																																																																																	
総合評価点	B	C	C	C	B	A	B	B	B	B	A	C	C	A	B	B	B	A	B	B	B	B	C																																																											
今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	<table border="1"> <tr> <th>今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか</th> <th>今後も是非活用したい</th> <th>活用を検討したい</th> <th>場合によっては活用することもある</th> <th>技術の改良を強く望む</th> <th colspan="4">各項目における判定</th> </tr> <tr> <td>(H26.4月以降の活用効果調査表11件にて判定)</td> <td>74%</td> <td>24%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td colspan="4">従来技術より極めて優れる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="4">従来技術より優れる</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="4">従来技術と同等</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="4">従来技術より劣る</td> </tr> </table>																					今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	今後も是非活用したい	活用を検討したい	場合によっては活用することもある	技術の改良を強く望む	各項目における判定				(H26.4月以降の活用効果調査表11件にて判定)	74%	24%	2%	0%	A	B	C	D	従来技術より極めて優れる													従来技術より優れる													従来技術と同等													従来技術より劣る			
今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	今後も是非活用したい	活用を検討したい	場合によっては活用することもある	技術の改良を強く望む	各項目における判定																																																																													
(H26.4月以降の活用効果調査表11件にて判定)	74%	24%	2%	0%	A	B	C	D	従来技術より極めて優れる																																																																									
									従来技術より優れる																																																																									
									従来技術と同等																																																																									
									従来技術より劣る																																																																									
追跡調査の必要性	無し																																																																																	
追跡調査																																																																																		

